

令和5年度取組実績

1 事業費の進捗状況

(単位：百万円)

基本施策	R5	後期編 (R4～R8)		
	執行額	総事業費	累計額 (R4～R5)	進捗率 (%)
1 安全でおいしい水の追求	44	713	80	11.2%
2 水の安定供給と強靱性の確保	8,359	44,709	17,098	38.2%
3 満足度を高めるサービスの充実	10	196	233	118.9%
4 持続可能な水道システムの構築	114	523	228	43.6%
合計	8,527	46,141	17,639	38.2%

2 主な取組実績

安全でおいしい水の追求

○清浄、豊富な原水の確保 800万円

・水源林事業の継続

▶ 鏡野町、新庄村（旭川水源地域）での水源林の保育・整備 間伐5.5ha

○水質管理体制の充実 3,600万円

・水質検査体制の充実

▶ 有機フッ素化合物（PFAS）の監視強化及び希釈設備の整備

○有機フッ素化合物（PFAS） 人工的に作られた有機フッ素化合物の総称
暫定目標値：PFOS及びPFOAの合計で50ng/L以下

▶ 水質検査機器の更新整備

(イオンクロマトグラフ、PT-GCMS)

○PT-GCMS

かび臭物質及び揮発性有機化合物の多成分同時分析ができる測定機器



PT-GCMS

○浄水・配水施設の計画的更新と耐震化 27億1,200万円

・浄水施設の計画的更新と耐震化

▶ 三野浄水場脱水施設更新

(令和2～5年度 4か年事業)

○脱水施設 取水した原水を浄水処理する過程で取り除かれた河川中の濁り(土砂)などの沈でん物を、機械で圧力をかけて脱水する施設。脱水処理された浄水発生土は「おかやま産土」の名称で園芸用土として販売するとともに緑化基盤材等の原料としてリサイクル率100%を達成している



三野浄水場新脱水機棟

・電気、機械設備の計画的更新

▶ 三野浄水場第5水源4号取水ポンプ整備

▶ 旭東浄水場受配電及び回転数制御設備更新

(令和3～5年度 3か年事業)



三野浄水場第5水源4号取水ポンプ

・浄水施設の再編

▶ 瀬戸調整池築造ほか

(令和3～5年度 3か年事業)

▶ 三野浄水場紫外線処理設備設置

(上工水共用化関連)

(令和3～5年度 3か年事業)

○紫外線処理設備
クリプトスピリジウム等の耐塩素性病原生物に作用し感染力を失わせる設備



瀬戸調整池

○水道管路の計画的更新と耐震化 48億2,100万円

・老朽管の更新と管路の耐震化

▶ 当新田線 北区青江地内～南区泉田地内

口径600～150mm (令和4～6年度 3か年事業)

▶ 約3.6kmの水道管の布設・更新(うち老朽管更新 約1.7km)

口径350～25mm

・災害時拠点施設への水道管の耐震化

▶ 8施設への管路耐震化を推進

○災害時拠点施設
負傷者の治療を行う医療施設、災害対策本部となる公共施設や広域避難場所など災害時に拠点となる施設

○災害対策の推進 6億700万円

・配水管網ブロック化の推進

- ▶ 市街地の小ブロック化数 7か所

・緊急遮断弁の設置

- ▶ 瀬戸調整池緊急遮断弁ほか設置

○緊急遮断弁

地震等の揺れを感知すると自動的に弁を閉める働きを持ち、災害時の飲料水等を確保する

・浄水場浸水対策

- ▶ 牟佐浄水場浸水対策



瀬戸調整池緊急遮断弁

○危機管理体制の充実 100万円

・緊急時対応力の強化

- ▶ 災害対策訓練の実施 3回
- ▶ 災害対策マニュアルの見直しの実施



給水タンクの組立訓練

○その他 2億1,800万円

- ▶ システム構築・改良

満足度を高めるサービスの充実

○お客さまの利便性の向上 800万円

・電子決済の研究

- ▶ クレジットカード払いの実施
- ▶ スマートフォン決済の使用可能なサービス拡大



おかやま水道フェア

○お客さまとの意識の共有 200万円

・広報活動の継続、拡充

- ▶ イベント実施

おかやま水道フェア（来場者 約3,500人）

岡山市水道の日イベント（参加者 17人）

参加対象を18歳以上の大人の方に限定

水・ガス・電気 実験工作室（参加者 88人）

- ▶ 水道記念館 来館者30万人記念式典

- ▶ 小学校、公民館等での出前講座

43回（参加者 1,206人）

- ▶ SNSを利用した情報発信



実験工作室



来館者30万人記念式典

○経営基盤の強化

・水道施設の統廃合、水道管路のダウンサイジング等による経費削減及び水道料金等の収入の確保

- ▶ 大内浄水場の休止に向け、岡山県広域水道企業団からの受水切替に伴う施設整備を実施
- ▶ 水道条例の改正（水道料金の改定）

・デジタル化の推進

- ▶ タブレット端末を使用して、漏水等の現場状況及び配管図等資料を迅速かつ安全に共有することが可能な画像共有システムを導入

○組織づくりと職員の能力向上 800万円

・研修の充実と人材育成

- ▶ 局内技術研修（応急給水、維持管理研修など）
- ▶ 局外研修（浄水処理、漏水防止研修など）
- ▶ デジタル人材の育成



画像共有システムを用いた漏水修繕

○環境負荷の低減 1億600万円

・水の有効利用

- ▶ 漏水防止事業の継続実施
（漏水箇所を発見する漏水調査や事前に漏水を防止する老朽管更新の継続実施）

有効率 93.4%



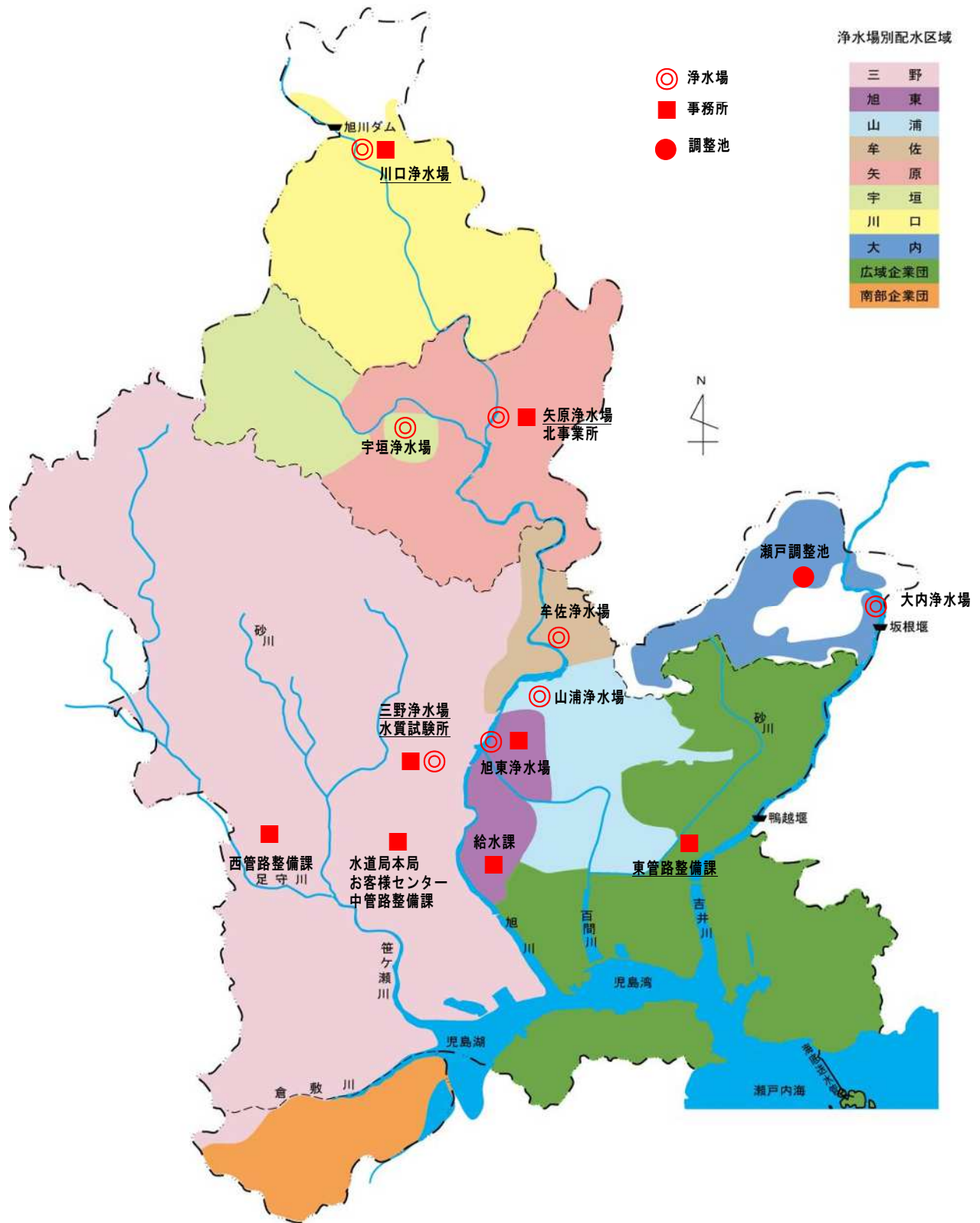
漏水調査

○有効率＝年間有効水量÷年間配水量×100

有効水量とは、メーターで計量された水量又は使用者に到達したと認められる水量であり、主には配水量から漏水量を除いた水量

3 評価指標 取組結果

評価	比率	件数
○	71.4%	20
×	28.6%	8
合計	100%	28



アクションプラン後期編 評価指標 令和5年度取組結果一覧

施策柱	評価指標	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価	
1 安全でおいしい水の追求	① 水源林の間伐面積	目標 (単年値)	5.3ha	5.0ha	5.0ha	5.0ha	5.0ha	○	
		実績	5.3ha	5.5ha					
	《間伐》混みすぎた林の木を間引くこと。残す木の生育を助け、光が差し込み、下草などが茂るため、水源かん養機能や土砂流出防止機能も高くなる。								
	② 水道GLP認証の継続	目標	中間検査	認定維持	更新	認定維持	中間検査	○	
		実績	認定維持	認定維持					
	《水道GLP》水道水質検査優良試験所規範の略称（優良試験所規範：Good Laboratory Practice）。水質検査は、需要者が直接口にする水の安全性を確認することが目的であるため正確かつ高い精度、高い信頼性の保証が求められる。水質検査の信頼性を保証する認定制度。								
	③ かび臭原因物質の目標値（5ng/L以下）達成率	目標 (単年値)	100%	100%	100%	100%	100%	○	
		実績	100%	100%					
	④ 平均残留塩素濃度	目標 (単年値)	0.40mg/L	0.40mg/L	0.40mg/L	0.40mg/L	0.40mg/L	×	
		実績	0.42mg/L	0.42mg/L					
【未達成理由】低水温時の対策が充分でなかったため。									
《残留塩素》水道法では衛生上必要な措置として、蛇口から出る水道水の残留塩素濃度を0.1mg/L以上保持するように塩素消毒を義務付けている。一方、塩素臭を感じるとおいしくないと感じるため、法律の定めに近い数値での運用が理想。									
⑤ 貯水槽水道（10㎡以下）の啓発率	目標 (単年値)	20.0%以上	20.0%以上	20.0%以上	20.0%以上	20.0%以上	○		
	実績	20.4%	20.7%						
《直結給水方式》3階までの建物での各部屋への直圧給水や、4階以上のマンションなどで増圧ポンプ（個人設置）による各部屋への加圧給水のこと。貯水タンクが不要となり、タンク清掃の手間がいらす、水質の劣化を防ぐ。									
⑥ 指定給水装置工事事業者の研修受講率	目標 (単年値)	-	-	95.0%	-	-	—		
	実績	-	-						
《指定給水装置工事事業者》給水装置の構造及び材質が基準に適合することを確保するため、水道事業者がその給水区域内において、給水装置工事を適正に施行することができると認められる者を水道法に基づき、指定した事業者のこと。									

評価：「○」達成、「×」未達成、「—」未評価

施策柱	評価指標	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価	
2 水の安定供給と強靱性の確保	⑦ 浄水施設の耐震化率	目標 (累積値)	8.4%	8.4%	9.0%	9.0%	9.0%	○	
		実績	8.5%	8.5%					
	⑧ 電気・機械設備の更新事業数	目標 (累積値)	15か所	31か所	60か所	82か所	100か所	×	
		実績	7か所	27か所					
	【未達成理由】 材料調達に時間を要し繰越となった工事が発生したため。								
	⑨ 配水池の耐震化率	目標 (累積値)	60.7%	60.7%	63.0%	63.0%	63.0%	○	
		実績	60.7%	62.8%					
	⑩ ポンプ場の耐震化率	目標 (累積値)	52.1%	52.1%	54.6%	54.6%	54.6%	○	
		実績	52.1%	52.1%					
	⑪ 老朽管更新延長	目標 (累積値)	140km	155km	167km	179km	191km	○	
		実績	144.3km	161.2km					
	⑫ 管路耐震管率	目標 (累積値)	20.3%	21.1%	21.8%	22.5%	23.2%	○	
		実績	20.5%	21.3%					
	⑬ 基幹管路（口径400mm以上）耐震適合率	目標 (累積値)	52.5%	53.9%	54.1%	54.1%	54.1%	○	
実績		51.6%	53.9%						
《耐震適合》耐震適合性のある管とは、耐震管（継ぎ目の接合部分が離脱しない構造となっている管）に、耐震管以外でも現地の地盤を考慮して耐震性があると評価できた管を加えたもの									
⑭ 耐震確保拠点施設数	目標 (累積値)	29施設	36施設	45施設	47施設	49施設	○		
	実績	29施設	37施設						
《耐震確保拠点施設》 浄水場や配水池から当該施設に至る管路が耐震化されている、災害時に拠点となる施設									

評価：「○」達成、「×」未達成、「-」未評価

施策柱	評価指標	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価	
2 水の安定供給と強靱性の確保	⑮ 基幹管路弁類の点検数	目標 (累積値)	120か所	240か所	360か所	480か所	600か所	○	
		実績	111か所	251か所					
	⑯ 水管橋・添架管の点検数	目標 (累積値)	20か所	40か所	60か所	80か所	97か所	○	
		実績	26か所	45か所					
	⑰ 災害時の燃料確保日数	目標 (累積値)	1.5日分	2.5日分	2.7日分	3.0日分	3.0日分	×	
		実績	1.5日分	1.9日分					
	【未達成理由】更新計画に遅れが出たため。								
	⑱ 非常用発電機による停電時の給水力パー率	目標 (累積値)	72.1%	78.2%	81.7%	93.0%	95.2%	×	
		実績	72.1%	72.8%					
	【未達成理由】更新計画に遅れが出たため。								
⑲ 浄水場浸水対策数	目標 (累積値)	6か所	7か所	9か所	9か所	9か所	○		
	実績	5か所	7か所						
⑳ 市街地の小ブロック化数	目標 (累積値)	43か所	50か所	55か所	59か所	64か所	○		
	実績	46か所	53か所						
《市街地の小ブロック化》配水区域を小規模に分割して管理することで災害や事故時の断水区域を最小限に抑えるとともに、早期復旧にも寄与するもの。									
㉑ 災害対策訓練実施数	目標 (単年値)	4回	4回	4回	4回	4回	×		
	実績	5回	3回						
【未達成理由】予定されていた訓練が、他都市での応急給水活動により中止となったため。									

評価：「○」達成、「×」未達成、「-」未評価

施策柱	評価指標	区分	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	評価	
3 満足度を高めるサービスの充実	⑳ お客さまの満足度	目標 (単年値)	-	-	-	80.1%	-	—	
		実績	意識調査 無し	意識調査 無し					
	㉑ クレジットカード 払いの導入	目標 (単年値)		導入				○	
		実績		導入					
	㉒ 出前講座実施回数	目標 (単年値)	20回/年 以上	20回/年 以上	20回/年 以上	20回/年 以上	20回/年 以上	○	
		実績	52回/年	43回/年					
《出前講座》水道に関する理解を深めることを目的に、小学4年生を対象とした水道出前講座に加え、公民館等で行う大人向けの水道出前講座を実施した。									
㉓ 協働事業の実施数	目標 (単年値)	3回	3回	3回	3回	3回	○		
	実績	1回	3回						
㉔ 水道記念館来館者 数	目標 (単年値)	10,000人	15,000人 以上/年	15,000人 以上/年	15,000人 以上/年	15,000人 以上/年	×		
	実績	12,442人	13,886人						
【未達成理由】浄水場見学者数が回復しないため。									
4 持続可能な水道システムの構築	㉕ 料金収納率	目標 (累積値)	99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上	99.0%以上	×	
		実績	98.9%	98.8%					
	【未達成理由】令和2年4月から納入通知書の納付期限を変更した結果、年度内の収納率が下がったため。								
	㉖ 省エネルギー機器 の導入率	目標 (累積値)	39.0%	40.0%	41.0%	42.0%	44.0%	○	
		実績	38.8%	42.5%					
	《省エネルギー機器の導入》取水、送水、配水のために使用されるポンプの省エネルギー機器化								
㉗ 有効率	目標 (単年値)	93.7%	93.8%	93.9%	94.0%	94.1%	×		
	実績	93.5%	93.4%						
【未達成理由】一部地区の検針月変更等により、料金水量の一部が翌年度計上となったため。									
《有効率》有効率＝年間有効水量÷年間配水量×100。有効水量とは、有効に使用された水量のことで、主に配水量から漏水量を除いた水量。									
㉘ 温室効果ガス排出量 削減率	目標 (単年値)	-25.0%	-26.0%	-27.0%	-28.0%	-29.0%	○		
	実績	-31.4%	-32.6%						
《削減率》削減率＝（基準年度排出量-排出量）/基準年度排出量×100									

評価：「○」達成、「×」未達成、「—」未評価